

2024 年度 国際学科

小 論 文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

問題

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

キャロル・ギリガンという心理学者が著した『もうひとつの声』という本があります。その中に、別の研究者がおこなった＜ハインツのジレンマ＞に関する分析を批判的に読み解く箇所があるのですが、ここでは、その＜ハインツのジレンマ＞についてのあなたの考えを記してもらうことにします。

ハインツというのは、ある男の名前です。ハインツの妻は重い病気にかかっています。その病には特効薬があるのですが、高額（千ドル）で、ハインツにはとても支払うことができません。薬屋に値引きして欲しいと頼み込んでも、聞き入れてもらえないのです。でも、その薬がないと妻は生きながらえることができません。ハインツは、果たして、その薬を盗むべきなのか。それが＜ハインツのジレンマ＞と呼ばれるものです。

このジレンマに対して、ジェイクという男の子は、「ハインツはその薬を盗むべきだ」と言います。そして、その理由を次のように説明します。

一つには、人間の命はお金よりも尊いからだよ。薬屋は千ドルもうけたって暮らしはあまり変わらないでしょう。でも、もしハインツがその薬を盗らなかったら、ハインツの奥さんは死んじゃうじゃない。《なぜ、お金よりも生命のほうが尊いのですか？》—なぜって、薬屋は後で重い病気にかかっているお金持ちから千ドルなんてすぐにとれるかもしれないけど、ハインツは二度と奥さんを取りかえすことはできないだろう。《なぜできないのですか？》—だって、ハインツは奥さんとまったく同じ人を奥さんにすることなんてできないじゃない。

【問1】 ハインツの妻の命と薬屋の財産をはかりにかけて、前者の優位性を認めるジェイクのこの答えには、どのような難点があるでしょうか。考えられる難点を、具体的に記してください。

- 【問2】 ジェイクとは違って薬を盗んではいけないという立場をとる場合、どのような説明が成り立つでしょうか。その説明に対して考えられる反論とあわせて記してください。
- 【問3】 あなたがハインツの立場に置かれた場合には、どうすると思いますか。どうしてそうするのか、その理由を記してください。
- 【問4】 <ハインツのジレンマ>のような悩ましい事態を生み出さないためには、何が必要になるでしょうか。考えつくことを、その理由を付して記してください。

[出典] キャロル・ギリガン 『もうひとつの声』[岩男寿美子監訳](川島書店, 1986年)。ただし、一部改変した。